

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

「人口の社会増」に向けた雲南市地方創生総合戦略推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

島根県雲南市

### 3 地域再生計画の区域

島根県雲南市の全域

### 4 地域再生計画の目標

雲南市は、2015年に策定した地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略（I期）に人口の社会増を目標に掲げ、子育て環境の整備、質の高い教育の提供、雇用や住宅施策、さらには「人づくり」や「若者誘致」など様々な取り組みを進めてきた。

人口移動について振り返ると、都市圏での活発な雇用活動によって依然として東京圏への一極集中が続いており、本市においても2016年に+2人だった県外の社会動態が2019年には-123人となるなど、若者世代を中心に就職等を契機とした県外流出が進んでいる。これに加え主に「就職・結婚」、「住宅」等を理由に隣接する松江市、出雲市への転出超過が続いており、2018年の状況を見ると、松江市に対して139人の転出超過（雲南市への転入129人に対し、松江市への転出者268人）となっており、出雲市に対しては109人の転出超過（雲南市への転入123人に対し、出雲市への転出者232人）となっている。特に20歳代、30歳代の子育て世代の人口減が多く、目標としていた人口数（2024年に36,500人）とは大きくかけ離れている。

このような現状が続くと少子高齢化に拍車がかかり、集落機能の崩壊や空き家等の増大などの地域力の低下、さらには購買力の低下や地域産業の担い手不足による地域経済の衰退が懸念される。

これらの課題に対応するため、これまで以上に子育て世代の流出防止対策とU

I ターン増に向けた取り組みを強化し、人口の社会増に向けた努力を続ける。特に、流出減が激しい20歳代、30歳代の若者・子育て世代を施策の重点対象とし、施策を展開していく。子育てしながら働きやすい環境づくり、松江市、出雲市に近い住宅環境の整備、子育てに係るきめ細やかなサービスの提供、こうした安心して子どもを産み育てることができる環境をつくる（定住基盤の整備）。

また、人材の育成・確保を進める「子ども×若者×大人×企業チャレンジ」の取り組みは、社会課題の解決と市民生活の向上に向けた取り組みとして、全国的に注目されつつある。本市のチャレンジの取り組みから、市民の手で市民のチャレンジを後押しして行こうという活動が生まれてきている。さらには、地域自主組織の「円卓会議」から政策が生まれるようになってきた。こうした取り組みを一層推進し、持続可能なまち（安心して暮らし続けられる地域）の実現を目指す（人材の育成・確保）。

行政や地域自主組織をはじめとする関係団体、NPOなどの多様な関係者が協働しながら地域全体を支え合う体制をつくっていきつつ、上記の取り組みを進めることで持続可能なまちを実現し、ひいては人口の社会増を実現する。

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度 )	達成に寄与する 地方版総合戦略 の重点戦略
ア	人口の社会動態	▲304人	88人	重点戦略①
	人口動態※ <sup>1</sup>	▲678人	199人	
イ	安心して暮らし続けられるまちと感じる市民の割合	—	75%	重点戦略②
	チャレンジしやすいまちと感じる市民の割合	—	50%	
	スペシャルチャレンジ制度※ <sup>2</sup> への申請件数	14件	48件	

※1 自然動態及び社会動態の合計

※2 中高生・大学生の国内外での実践研修や、若者等の社会課題を解決する起業創業を支援する制度

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

人口の社会増に向けた「定住基盤の整備」と「人材の育成・確保」事業

ア 定住基盤の整備事業

イ 人材の育成・確保事業

#### ② 事業の内容

ア 定住基盤の整備事業

子育てしながら働きやすい環境づくりや、人口流出が激しい周辺部への対策（多様化する保育ニーズへの対応、松江市、出雲市に近く、子育て世代に好まれるような住宅環境の整備、住まい、仕事の情報を一体的に管理する体制の整備）等、住みたい、住み続けたいと思われる対策を展開する。なお、20代、30代の子育て世代を重点ターゲットに集中的に施策を展開する。

#### 【具体的な事業】

・ 預かりサービスの充実に関する事業

・ 子育て相談の充実に関する事業

等

イ 人材の育成・確保事業

持続可能なまちの実現に向け、「子ども×若者×大人×企業チャレンジ」による社会課題の解決（ソーシャルチャレンジ）を進めるとともに、人口減少や技術等の社会変化に対応し、まちの持続可能性を高める人材の育成・確保を進める。

加えて「技術の進展に応じた教育の革新」、「新時代に対応した高等学校改革」に向けて、オープンイノベーションにより大胆かつスピード感を

もって、未来に役立つ教育環境の創出に取り組むとともに、民間活力と連携・協働し、「チャレンジを支える資金調達」「まちに必要な人材の獲得」「チャレンジャーがつながる場づくり」「意志ある人材や投資を呼び込むための情報発信」の4つの機能の充実・強化を目指す。

また、SDGsの考え方や視点を取り入れ、地域内外の様々な企業、NPO、個人等との連携・共創を通じて、ソーシャルチャレンジの更なる強化を目指す。

#### 【具体的な事業】

- ・チャレンジを育む教育環境の創出
- ・スペシャルチャレンジを育む未来の学校の構築

※詳細は第2次雲南市総合計画（第2期総合戦略）のとおり。

#### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ。

#### ④ 寄附の金額の目安

1,200,000千円（2020年度～2024年度累計）

#### ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに雲南市公式ホームページ上で公表する。

#### ⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

#### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

## 6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで